



# 商工会だより

# 6月号 号外

発行日 令和3年6月10日

## 会長就任のご挨拶

森村 勝



初夏の候、会員の皆様には益々ご精励のことと存じます。

この度、令和3年5月21日の、令和3年度通常総代会において、木津川市商工会会長に就任いたしました。何卒宜しくお願い致します。

就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、福井前会長はじめ、前役員の皆様のご尽力に心より敬意を表しますとともに、その後を引き継ぐにあたり、商工会長としての責任の重大さに、身の引き締まる思いを致しております。

また、会員の皆様方及び京都府、木津川市等の関係機関のご指導を賜り、この重責を全うすべく決意を新たにしているところであります。

我々、商工業者を取巻く環境は申し上げるまでもなく、長期化している新型コロナウイルス感染症の影響により、痛烈な打撃を受け、かつてない厳しい経営環境が続いておりますが、感染拡大により、また4月から京都府にまん延防止等重点措置・5月から緊急事態宣言が発令され、我々の生活にも影響を及ぼし、回復の兆しが見えない状況であります。

昨年度より影響を受けている業種は更なる影響を受け、また本年度には、新たに影響を受ける業種が増えることも懸念されております。

この厳しい経営環境下においても、社会構造をはじめ、小規模事業者を取り巻く環境も少子高齢化、情報化、グローバル化等の変化は急速に進んでおり、社会の変化に対応した、新たなニーズを捉える取り組みや、コスト削減といった、事業の存続をかけた取り組みは待たなしの状況となっております。

然しながら、地域に密着する我々中小零細事業者は、地域経済の担い手としての役割が大きく、我々の発展無くして地域の活性化は有りえません。

新型コロナウイルス感染症が終息した後の、世の中の変化を見据えて、木津川市商工会の会員企業の取り巻く現状を直視し、社会変化に対応出来る取り組みを、会員の皆様と共に考え、迅速果断に専門的かつ高度な支援を行う事により、会員皆様の事業の安定向上を図ります。

また地域との共生に取り組める体制を強化して、地域社会と共に発展に貢献出来る様、役員、職員一丸となって、「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」という、未来を目指して取り組んでいきたいと思っております。

むすびにあたり、木津川市商工会の更なる飛躍のため皆様方の一層の御支援、御協力を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

発行者

木津川市商工会  
木津川市木津南垣外83-3

TEL: 0774-72-3801

FAX: 0774-72-6564

Mail: kizugawa-sci@kyoto-fsci.or.jp

URL: <http://kizugawa.kyoto-fsci.or.jp>





## 会長退任のご挨拶



### 福井 康裕

水田に稲の苗が植わり、ほたるが飛び交う季節となりました。

去る、5月21日の総代会をもって、木津川市商工会長の3年の任期を終えることができました。

さて、私が就任させていただいた平成30年度は、大阪北部地震や台風21号の上陸による浸水被害など、大きな災害が発生した年であり、その一方では企業収益が過去最高を記録するなど、経済の循環は着実に好転換する1年でもありました。

そのような中で、山本会長の後任として、木津川市商工会長を拝命し、会員の皆様の多大なるご協力のもと、木津川市商工会がさらに活性するように努めてまいりました。しかし、昨年の初旬より新型コロナウイルスという人跡未踏の脅威が世界中を襲い、経済活動の鈍化に繋がり、未だ回復の兆しが見えません。

木津川市商工会も、昨年は会員の皆様への新型コロナウイルス感染症対策に係る、補助金や助成金、新型コロナウイルス対策特別融資などの支援を重点的に行いました。

その甲斐が有って、コロナ禍の厳しい経営環境の中でも、昨年度当初991名であった会員数が、年度末に998名に増加したことは、偏に関係機関各位のご協力と会員企業のご努力の賜物と心より感謝申し上げます。

このような昨今の先行きが見えない情勢の中、様々な情報が入ってまいります。私たちが事業者は、地に足を付けて自らを精査し、公明正大な視点で判断して、この混沌とした先の必ず明ける日に備えて慎重且つ着実に前進し続けることで、好機にまた導かれるのだと、私は確信します。

会長拝命期間中の3年間の中、この期間の情勢の下で、当初思い描き実現できなかった事もあり、会員の皆様には心よりお詫び申し上げます。

結びにあたり、木津川市に広がる水田に騒然と並ぶ細やかな、しかし凜とした息吹がいずれ黄金に輝き実るように、木津川市商工会の会員事業所が、今後も益々ご発展されることを祈念致します。

